

## ナ行

## ナ行

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ナエ	ネ	「あのね」と言うときの「ね」。「アノナエ」→「アンナエ」
ナジシタ	ドウシタ	どうした。「ナジシタ, ソンナカオシテ(どうした, そんな顔して)」
ナジャ	ナゼ	なぜ。「ナジャソオナンダ, オメえは(なぜそうなんだ, お前は)」
ナス	ウム	生む, 産む。古い言葉「成した」から来たものと思う。「隣のオッカサン, アガンボナシタド(隣のお母さんが赤ちゃんを産んだよ)」
ナチタモノ	ドンナモノ	どんなもの。「ナチタモンダ, ソレエ(どんなものだ, それは)」
ナックス	ナクス	無くす, 失う。「鉛筆ナックツシャッタ(鉛筆を無くしちゃった)」
ナツパ	ナ	菜, 菜の葉。「カナリヤゲえ, ナツパヤツテクレッカ(カナリヤに菜の葉をやってくれるか)」
ナラシ	ナラシ	壁際に細い竹を吊るし, 手ぬぐいなどを架ける仕掛け。「コノテヌゲエ, ナラシサアシツカゲデクロ(この手ぬぐいを「ならし」に引っ掛けてくれ)」
ナワナエ	ナワナイ	縄綱(な)い。藁を燃(よ)り合せて縄を作る作業。
ナンチツタツテ	ナントイツタツテ	何と言ったって。「ナンチツタツテ, オレエ, エジバンダツペえ(何と言ったって俺が一番だろう)」
ナンチツテ	ナドトイツテ	等と言って。
ナンド, ナント	ナド	等。「ハア雨ナント, エラネえ(もう雨などいらない)」
ナンニモ	ナニモ	何も。前項と同様「ン」が入った。

## ニ

若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ニガミツツラ	シカメツツラ	しかめた顔。「しかめる」とは額や顔の皮膚をしわ寄せさせること。いやな時の表情。苦いものを口にしたときにこの表情をするので「ニガミツツラ」となったと思われる。「ナジシタ, ニガミツツラして(どうした, しかめっ面をして)」
ニグシ	...	米の磨ぎ汁
ニクセえ	ニクサイ?	似ているよう。似くさい(?)
ニシドツチ	サナギ	蛹(さなぎ)。ある種の昆虫の大きい蛹を立てて持って、「西どっち」と声をかけると、西を指すようにピクリと体を曲げる習性があることから蛹を「ニシドツチ」と呼ぶようになったと言う。

ニッキ	<u>ニッケイ</u>	肉桂(につけい)。肉桂とは良い香りのする木。干した根を買ってしゃぶったものである。薬用・香料にする。(シナモンの仲間)
ニヤバ	<u>ドマ</u>	土間。「ニヤバア、ハエデクロ(土間を掃いてくれ)」
ニワツトリ	<u>ニワトリ</u>	鶏
ニンコ	<u>ニギリメシ</u>	握り飯, おにぎり
ニンヤガ	<u>ニギヤカ</u>	賑やか。「馴馬のお祭り, ニンヤガタッチケガラ, 天気はエエシ, ミナエグッチケド(馴馬のお祭りは賑やかだそうだから, 天気はいいみんな行くそうだよ)」

ヌ		
若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ヌガス	<u>ヌカス</u>	抜かす, 抜けさせる, が本来の意味だが, 運動会などで「3人ヌガシテ1トウショウニナッタ(3人抜いて一等になった)」等と言う。
ヌグドエ	<u>ヌクトイ</u>	温(ぬく)とい, 温(ぬく)い。今は「温(あたた)かい」と言うようになった。
ヌゲジル	<u>オイテキボリ</u>	置いてきぼり。仲間に入れられないで置いて行かれる。
ヌダ	<u>ヌタ</u>	ぬた。本来は魚肉や野菜の味噌和えのことだが, 白和えも「ぬた」と混同する人がいる。
ヌノゴ	<u>ヌノコ</u>	布子(ぬのこ)。木綿の綿入れの着物。
ヌル	<u>ネンエキ</u>	粘液。ヌルヌルする液体。

ネ		
若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ネエル	<u>ニエル</u>	煮える。「ハアサガナ, ネエダッペえ(魚はもう煮えただろう)」
ネえ	<u>ナイ</u>	無い。「そんなゴドネエド(そんな事ないよ)」
ネエツコニスル	<u>ナイコトニスル</u>	無いことにする, 帳消しにする
ネゴカブリ	<u>ネコカブリ</u>	猫かぶり。本性を包み隠しておとなしそうに見せかけること, 又そういう人。
ネギヌダ	<u>ネギノシラアエ</u>	ねぎの白和え。白和えを「ヌダ(ぬた)」と混同。
ネソブレル	<u>ネソビレル</u>	寝そびれる, 眠れない。「お茶ウント飲んで寝ダラ, 寝ソブレチャッテ眠れネヤ(お茶をたくさん飲んで寝たら, 目がさえて眠れないよ)」
ネダレル	<u>セガム</u>	せがむ, ねだる

ネチリカッテオグ	フサイデオク	塞(ふさ)いでおく。穴が開いて水が漏るとき、何かを搦し込んでふさぐことから「『ネジリ』をかって」と言う言葉になった。「かって」は「支(か)う」の活用で支えるということである。
ネネッコ	ネネ	幼児、人形。ネンネ、ネンネコバンテンなどとなる。
ネブタイ	ネムイ	眠い。「ネブタグになったら自分で布団スエデ寝ろ(眠くなったら、自分で布団を敷いて寝ろ)」
ネマギ	カイマキ	「掻い巻き」と寝間着(ねまき)を混同。
ネライオドシ	ネライオトシ	ラムネ(ビー玉)遊びの一つ。相手の玉を真上から狙って、自分の玉を落とし当てる競技。
ネンジン	ニンジン	人参

ノ		
若柴言葉	アルベキスガタ	解説・用例・その他
ノオ	ニオ、ニユウ	にお。藁や刈り取ったままの作物等を円柱状に積み重ねたもの。
ノオヂ	ノチニ	後に、後で。「ノオヂニエグ(後で行く)」
ノガウ	ヌグウ	拭う。「良オク泥オノガットゲ(泥を良く拭っておけ)」
ノガッポ、ヌガッペ	ノギッポイ	稲や麦の穂などから落ちた細かい「ノゲ(=ノギノ芒・稲等の穂先の針状の突起)」でちくちくすること
ノス	...	鳥が羽根を動かさず、空中滑走をすること。鳶(とんび)がよくやる。
ノゾッコム	ノゾキコム	覗(のぞ)き込む。棒などを穴に入れようとして、少し入った時などに「ノゾッコム」と言う。
ノッポ	セイタカ	背が高い。「セイタガノッポダ、トゾクベえ(背が高いから届くだろう)」
ノデニ	ムリニ	無理に。強引に、向こう見ずに、無鉄砲に、のような場合の方が多いかもしれない。
ノボセ	ハリコミヤ	張り込み屋。興奮しやすく調子に乗って行動する者。
ノンチマア	ノンデシマウ	飲(呑)んでしまう。ノンチャアド、ノンヤッタは同じ言葉。

※赤字の部分は生涯学習課が追加しました。